

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 多古北工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書(P65) 24-33-1(1)補正係数による補正	③および④の文中で示される「設計金額(補正前)」について、「設計金額」とは、土木工事積算基準(P1-1) 2.工事費の基本構成で示される「工事価格(工事価格対象額)」であると考えてよろしいでしょうか。また、設計金額(補正前)の「補正前」とは、(1)補正係数による補正、(2)標準単価の補正、および(3)稼働率による補正の実施前であると考えてよろしいでしょうか。「設計金額」を工事価格(工事価格対象額)と考えない場合、「設計金額(補正前)」の定義をご教示ください。	そのとおりです。
2	特記仕様書(P65) 24-33-1 (1)補正係数による補正	③および④の文中で「規定に基づいて算出した率」とありますが、特記仕様書(P65)24-33-1補正対象項目及び補正方法で示される補正の実施後に算出した率と考えてよろしいでしょうか。もしくは、補正実施前に算出した率でしょうか、ご教示ください。	特記仕様書24-33-1に示すとおりです。
3	特記仕様書(P66、P67) 24-33-1(2)標準単価の補正 24-33-4 支払(1)	24-33-1(2)標準単価の補正で示される「標準単価の補正額」について、24-33-4支払(1)の記載の通り、金抜き設計書 番号185 特-(19)週休2日推進に係る補正額に含むものと考えてよろしいでしょうか。金抜き設計書 番号185 特-(19)週休2日推進に係る補正額に含まない場合、単価表のどの項目名称に含むと考えたらよろしいでしょうか。	そのとおりです。
4	特記仕様書(P66) 24-33-1 (3)稼働率による補正	ダンプトラックの稼働率の補正について、特記仕様書(P66) 24-33-1(3)稼働率による補正で示される①および②の標準稼働率を適用して補正してよろしいでしょうか。①および②を適用しない場合、ダンプトラックの稼働率の補正方法をご教示ください。	積算に関する質問については、お答えできません。
5	図面と数量計算書との数量相違について ・図面 附帯工(78/85～85/85) ・数量総括表(P1-6)	単価表の「集水ます TypeL」について、附帯工の図面で確認できる数量と、数量総括表で確認できる数量に相違があります。図面と数量総括表と、どちらの数量を正と考えたらよろしいでしょうか。 ・Dc-S-0.80-0.80-2.10 図面:5箇所、数量総括表:1箇所 ・Dc-S-1.00-1.00-2.10 図面:0箇所、数量総括表:4箇所	現在内容確認中ですので、確認出来次第お知らせいたします。
6	図面 調整池(47/60) 材料表のうち鉄筋(D16～D25)の数量	図面 調整池(47/60)の材料表のうち、鉄筋 D16～D25の合計数量について、個別工種の和(洪水吐+吐口工)の数量と一致しません。材料表中において、どの数字を正と考えればよろしいでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認出来次第お知らせいたします。

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 多古北工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
7	特記仕様書(P21) 24-3-3 (2) 1材料区分 図面 函渠工(63/95)	形鋼の材料区分について、特記仕様書(P21)では「中古品」と記載がありますが、図面 函渠工(63/95)の材料表摘要欄では「新品」とされています。どちらが正でしょうか。	現在内容確認中ですので、確認出来次第お知らせいたします。
8	金抜き設計書 番号109 15 -(1) 防護柵Gr-B-2B(A)	支給品について、コンクリート連続基礎ブロックとガードレール支柱は既に一体となった状態のものですか。それとも、分離された状態で支給されますか。	設計図 一般国道296号 23/34に示すとおり、一体となった状態とお考え下さい。